

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史を紐解き、文化財を尊ぶ
事業主体 (連絡先)	自然友の会 代表 松本慶一
事業区分	地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)
総事業費	529,175 円 (うち支援金: 524,000 円)

事業内容

小林地区は、城跡がありそれに付随する文化財が存在するが、保存活動がおろそかにされてきた。歴史文化財は、「城跡」「城主の墓」「仏像」「百庚申」「小林城観音桜」等がある。これらを地区の財産として整備すると同時にボランティアガイドの育成・学習会の開催により地域を知り、地域づくりに結びつける。

- (1) 地区の名所・旧跡の整備・保存を行う。(案内板、百庚申等の整備・保存、小林城観音桜保全・カタクリの保護)
- (2) ボランティアガイドの育成
- (3) 区民一同が歴史に関心を持ち、地域づくりを实践する土壌形成が出来た。



自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

- (1) 下久堅第7次基本構想の第1章の自治振興部会は、農家ホームステイの方々等を対象にしたボランティアガイドの育成を上げており、小林地区がモデル地区として取組み、将来的には、地区内全域に広めていく効果があった。
- (2) 地区の歴史が掘り起こされる。
- (3) 子どもたちを含めた若い世代が地域に関心を持ち、誇りを持って生活する土壌が芽生えた。

【目標・ねらい】

- 桜保存会の発足
- 桜を媒体とした地域づくり

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

誇りを持って生活を営むことが出来る地域を目指す。

.....

.....

.....

.....